

「駅業務委託」契約結果

「駅業務委託」について、公募型プロポーザル方式で受託者選定を実施した結果、次のとおり受託者を決定しました。

1 件名

- (1) 高速鉄道1・3号線駅業務委託（桜木町駅ほか）
- (2) 高速鉄道3号線駅業務委託（中川駅ほか）
- (3) 高速鉄道4号線駅業務委託（中山駅ほか）

2 契約の相手方

- (1) 高速鉄道1・3号線駅業務委託（桜木町駅ほか）
横浜市中区長者町5-85 三共横浜ビル5階
株式会社京王設備サービス 横浜営業所
営業所長 藁谷 照男
- (2) 高速鉄道3号線駅業務委託（中川駅ほか）
横浜市中区長者町5-85 三共横浜ビル14階
一般財団法人横浜市交通局協力会
代表理事 御厨 久史
- (3) 高速鉄道4号線駅業務委託（中山駅ほか）
横浜市中区長者町5-85 三共横浜ビル14階
一般財団法人横浜市交通局協力会
代表理事 御厨 久史

3 評価結果

- (1) 高速鉄道1・3号線駅業務委託（桜木町駅ほか）

業者名	得点
株式会社京王設備サービス	438

- (2) 高速鉄道3号線駅業務委託（中川駅ほか）

業者名	得点
一般財団法人横浜市交通局協力会	456

- (3) 高速鉄道4号線駅業務委託（中山駅ほか）

業者名	得点
一般財団法人横浜市交通局協力会	456

評価委員会の開催経過、提案書評価基準については、別紙のとおりです。

プロポーザル評価委員会開催記録

件名	(1) 高速鉄道1・3号線駅業務委託（桜木町駅ほか） (2) 高速鉄道3号線駅業務委託（中川駅ほか） (3) 高速鉄道4号線駅業務委託（中山駅ほか）
----	--

○評価委員会開催経過

委員会開催日時	令和3年8月27日（金）13:30～16:15									
委員会開催場所	横浜市役所20階大会議室									
評価委員の出席状況 「○」出席 「×」欠席	安全管理部長 (委員長)	総務部総務課長 (副委員長)	経営管理部経営管理課長	駅務管理所長	高速鉄道本部営業課長					充足率
	○	○	○	○	○					5/5
事務局	高速鉄道本部営業課3名									
議事内容・作業内容	提案者に対するヒアリング及び提案書の採点・集計等について									
確認事項・作業内容等	<p>評価委員は、提案書を提出した2社に対して質疑応答を行い、提案書について、評価基準に基づき採点した。</p> <p>評価委員の評価点を集計し、合計点を確認のうえ、選考基準に基づき受託候補者として適当であると評価した。</p>									

提案書評価基準

1 基本的評価事項

評価項目 (配点)	評価事項	配点	評価基準		
			A	B	C
同種業務 の実績 (45)	駅業務の受託にあたり、同種業務の実績があるか。	15	同種業務の実績が5年以上ある	同種業務の実績が1年以上～5年未満	同種業務の実績が1年未満
	業務内容を十分に把握し、実現可能な提案内容となっているか。	15	業務内容を十分に把握し、かつ発注者にとって有益な提案内容となっている	業務内容を把握し、実現可能な提案内容となっている	業務内容の把握が不十分で、提案内容の実現性が乏しい
	営業所等の執行体制を系統立てて明確にしているか。	15	十分な執行体制が確立されている	執行体制が確立されている	執行体制の確立が不十分
基本方針 (15)	横浜市交通局の経営理念を理解したうえで、市営地下鉄の駅業務の受託にあたっての積極的な基本方針を示しているか。	10	経営理念等を十分に理解し、職員が自ら率先して業務を実施できる	経営理念を理解し、業務を実施できる	経営理念の理解が不十分であり、業務実施の信頼性が低い
	駅業務の内容を理解し、円滑に遂行するために必要な資質（経歴等）を持った人材の獲得にむけ、具体的にどのような募集方法をとっているか。	5	人材確保の募集方法が明確であり、駅業務に対する独自の教育方針がある	人材確保の募集方法が明確である	募集方法に具体性がない
実施方法 の提案 (15)	お客様サービスを低下させず、効率化につながる独自の提案がなされているか。 また、安全性とサービス向上が図れる独自の提案がなされているか。	10	効率化やサービス向上につながる有益な提案がなされており、局への貢献が見込める	効率化やサービス向上につながる提案がなされている	効率化やサービス向上につながる提案が少ない
	混雑時やお客様のニーズに合わせた案内・整理を行うための教育訓練計画があるか。障がい者や交通弱者の案内に対する教育訓練計画があるか	5	推奨すべき十分な教育訓練計画があり、万全な対応が見込める	教育訓練計画がある	教育訓練計画が不十分

評価項目 (配点)	評価事項	配点	評価基準		
			A	B	C
職員管理体制 (25)	常に職員の健康状態を把握し、安定的かつ効果的に、受託駅に配置できる体制になっているか。	10	管理体制が十分であり、不安要素がない	管理体制が十分である	管理体制について信頼性が乏しい
	職員に事故があった場合など、緊急時の措置・方法が確立されているか。	10	緊急時の応援体制が十分に確立されており、万全な対応が見込める	緊急時の応援体制が確立されている	緊急時の応援体制について信頼性が低い
	駅業務が確実かつ安定して遂行できるよう、職員の勤怠及び執務態度に対するチェック体制が整備されているか。	5	チェック体制が十分に整備されており、併せて独自の方針がある	チェック体制が整備されている	チェック体制の整備が不十分

2 評価方法

- (1) 各評価項目について、A、B、Cの3段階評価を行うことを基準とする。
- (2) 評価は各項目10点満点とし、A=10点、B=6点、C=0点とする。
 例えば、表において配点15点の項目の場合
 評価がAであれば $10 \times 3 / 2 = 15$ 点
 評価がBであれば $6 \times 3 / 2 = 9$ 点とする。
 例えば、表において配点が5点の項目の場合
 評価がAであれば $10 \times 1 / 2 = 5$ 点
 評価がBであれば $6 \times 1 / 2 = 3$ 点とする。
- (3) C評価のあるものは原則として特定しない。

3 評価が同点となった場合の措置

- (1) 出席委員の評価点数の合計が最も高い提案を第一順位とする。
- (2) 出席委員の評価点数の合計が最も高い提案が複数あるときは、「同種業務の実績」の合計点数が最も高い提案を第一順位とする。
 「同種業務の実績」の合計点数が同点の場合は、「職員管理体制」の合計点数が最も高い提案を第一順位とする。
 「職員管理体制」の合計点数が同点の場合は、「実施方法の提案」の合計点数が最も高い提案を第一順位とする。
 「実施方法の提案」の合計点数が同点の場合は、評価委員会委員長の判断により特定する。